



令和3年8月

<8月の予定>

木曜日 5日・12日・19日 17:00~19:00(防具組:駒場体育館剣道場)
(基本組:駒場体育館柔道場)
26日 17:00~19:00(針ヶ谷小学校体育館)
土曜日 7日・28日 15:00~17:00(防具組:駒場体育館)
(基本組:本太中修道館剣道場)
14日 稽古お盆休み

—■8日(日) 埼玉県剣道大会小学生の部 浦和代表選考会 →9月5日(日)に延期
9:00~ (常盤小学校)5年生3名参加
■21日(土) 試合&OB会 9:00~11:00(浦和西体育館)
→試合&OB会は延期(期日未定)、稽古あり

<9月の予定>

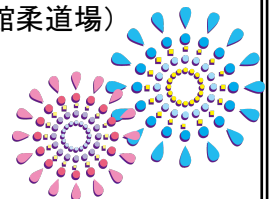
木曜日 すべて 17:00~19:00(針ヶ谷小学校体育館)
土曜日 4日 15:00~17:00(防具組:駒場体育館剣道場)
(基本組:駒場体育館柔道場)
11日・25日 15:00~17:00(防具組:駒場体育館)
(基本組:本太中修道館剣道場)
18日 15:00~17:00(全員:駒場第一体育室全面)
■18日(土) 一級審査会 9:00~ 大宮武道館

<10月の予定>

木曜日 すべて 17:00~19:00(針ヶ谷小学校体育館)
土曜日 2日・9日 15:00~17:00(全員:本太中修道館)
16日・23日・30日 15:00~17:00(防具組:駒場体育館剣道場)
(基本組:駒場体育館柔道場)

※状況により稽古場の場所が変更になります。

詳細等はslackをご確認下さい。





本荘先生からのお言葉

8月になりました。本来であれば今日から夏合宿、2泊3日で河口湖だったのに残念です。それどころか8月2日に何度目かの「緊急事態宣言」が埼玉県にも発令され、より一層感染防止に気をつけながら生活しなければなりません。県内の感染者の数が今までになく多くなっています。ワクチン接種が進み、中高年者より若年層に感染者が増えています。「宣言」に慣れることなくより自分事と捉え、感染しないよう努めていきましょう。駒場体育館と本太中は使用できるようですが、今後、稽古の実施の有無については状況を見ながら判断していきます。本人もしくは家族の体調がすぐれないときは、検査の結果を待つことなく稽古の参加を見合わせるようお願いいたします。

さて、7月末から基本組から4人を防具組に入れ稽古をしています。最初のうちは戸惑うこともあろうかと思いますが、見よう見まねでついていってください。(大丈夫そうに見えています。)このあとも担当して下さる錬成部の先生方と協議しながら順次昇格させていきます。基本組の稽古を見ていると基本に忠実にしっかりとやれています。引き続きがんばりましょう。防具組は、明日5年生3名が浦和剣連の代表選手選考会に参加します。宮島、廣江、並木が気合の入った稽古をしていますので、実施できそうで良かったです。前回の6年生3名にもお願いしましたが、なかなか交流のできない昨今ですので、そこで見たこと聞いたこと感じたことを駒剣に持ち帰り、皆に伝えてもらいたいです。駒剣全体として暑い中よくがんばっています。

オリンピックをテレビで見て、たくさんの日本人アスリートから感動をもらっていることと思います。柔道の金メダルラッシュはすごかったですね。「同じ武道でなぜ剣道はオリンピック種目にならないの?」と思った人がいると思います。剣道がオリンピック種目になれば、今以上に日本のメダルの数が期待できるでしょう。でもなぜならないか。剣道をやっている人があえてそれを望んでいない面があります。柔道の日本人選手は、勝ってもガッツポーズなどせず、畳を降りてからコーチと抱き合う姿など見られます。でも、それを外国人選手に求めても難しいものがあります。柔道着がわかりやすいように白と青になったのも最近のことです。オリンピックとなればどうしてもメダル獲得が主眼となり、内容より勝つことに重きを置かれます。そうなると剣道の大事にしていることが「国際化」や「勝ち負け」という波にのみこまれ疎かになる懸念があるのです。(誤解のないよう付け加えますが、剣道の世界大会は3年に一度開催されていますし、外国人剣士には日本人以上に礼儀正しく、武士道を愛している者が多いです。)

今回、フェンシング(エペ)で日本チームが金メダルをとりました。あれを見てフェンシングをやりたいという子どもたちが増えるでしょう。「普及」ということではオリンピックで活躍する、メダルをとるといのは一番効果があることだと思います。でも、我々は地道にでも剣道の良さ、素晴らしさ、伝統の重みなどを理解し、それを後世につなげていくことを求められています。皆さんもそのひとりです。そんなに早く強くならなくてもいい、上手にならなくてもいいです。細くとも長く剣道が続けて剣道の良さをたくさん知ってほしい、そう思いながら指導をしています。



太郎の百錬自得



第88回

左拳

今回は左拳について考えてみます。みんな左拳についてどれだけ細かく考えて稽古しているでしょうか。

私としては、基本的に大きく二つは押さえておきたいなと思っております。

まずは、位置についてです。

オーソドックスな中段の構えの場合、左拳の位置は大体おへその辺りに置きます。私の場合は、大体拳は体から拳ひとつちよっと離して、左親指の付け根がおへその位置のやや下、が定位置になっています。左拳の親指の付け根がおへその辺りということは、左拳の中心はおへそより少し左になります。拳と体を拳ひとつちよっと離すことで左肘が適度に収まり、竹刀の操作性が高まります。

次に、握りについてです。

私の場合は、小指と薬指は軽く竹刀を支えるくらいの力を入れます。親指、人差し指、中指は柄に触れる程度としています。また親指は先が下を向くように、人差し指や中指は柄を包むようにしています。できるだけ小指で剣先を動かすようにしています。もっとも剣先から遠い左手小指で動かすことで、もっともわずかな動きで剣先が動かせるからです。

ということで、左拳の位置と握りの二つについて、どのような意識で構えているかを説明しました。

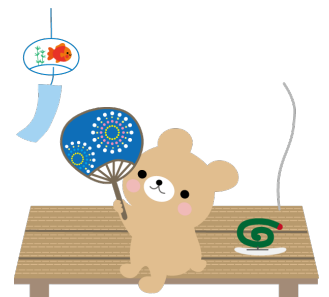
基本はそういうことですが、ここからが面白いところです。毎回毎回の稽古で位置や握りも、少しずつじっくりくるところが微妙に違うんですね。体調であったり、姿勢であったり、日々人の体は変化していますので、当たり前といえば、当たり前なのですが。調子が悪い時は、最後までじっくりこないまま試行錯誤して終わります。

構えがじっくりくるようなところに左拳が位置や握りがはまることを、左拳が収まる、といいます。

なかなか攻めが効かない相手や、すぐ攻め入られてしまうような格上の相手と稽古させていただく度に、自分の左拳の収まりのなさを痛感します。突き詰めていくと、「左拳が収まる」には、単に左拳の位置や握りの工夫だけに留まりません。両足のどこに重心があるのか、腰の立て方はどうか、自然体で立って適度に力が抜けているか、顔はややあごが引いているか、などなど、全身の状態が決まると思います。

剣道をしている以上、見た目も美しく、つけ入る隙のない構えができるようになりたいものです。

さて、今月はこの辺で。暑い中での稽古は、水分休憩はマストです。熱中症には気をつけましょう。



新ジャイアンのはなうた♪



よっ！ みんな、元気か？

またまた、緊急事態宣言だな。

コロナについては、いろいろな考え方があって、何が正しいとかは、簡単には言えないけど、ひとつだけ正しいと言えるのは、他人に迷惑をかけてはいけないということだな。うつきないようにする努力、そのためには、うつらないようにする努力が必要だな。そのためには、ひとりひとりの、自覚、責任感が重要だと思うぞ。

ところで、オリンピックが盛り上がっているな。みんなは、オリンピックを見て、感動しているかな？ ジャイアンは、結構、感動してしまうな。メダルをとっても、とらなくても、「すごいな！」って思うよな。それはなぜなのかな？

きっと、選手たちがオリンピックの金メダルを目標にして、人には言えないような努力を重ね、その努力が結果に結びつくところに、感動があるような気がするな。

考えてみると、そういうことは、勉強でも剣道でもよくあるような気がするな。例えば、全然勉強していないけど、直前に見ていたところが、テストに出て、80点とると、一生懸命勉強して、その努力が実って80点とるとのでは、うれしさが違うよな。え？どっちも80点なんだから同じじゃないかって？それがちがうんだな。

剣道だって、めちゃくちゃやったら、偶然竹刀が面に当たって一本になったのと、何回も何回も練習して出来るようになった小手返し面で一本になったのとでは、やっぱりうれしさが違うんじゃないかな？

一生懸命努力したことが、結果につながるうれしさは、どんなものにもかえられないほどすばらしいよな。だから、つらくても、がまんしてみんな努力するのもかもな。

でも、努力すれば、すぐに結果がでるわけでもないし、かならず、良い結果がでるってということでもないな。でも、良い結果が出なくても、頑張って、頑張って、最後に良い結果ができれば、金メダルではなくても、それはとてもすばらしいことだと思うぞ。剣道でも勉強でも、そういう気持ちをもつと、毎日がとても充実したものになるんじゃないのかな？

ジャイアンの友達に競馬が好きな人がいるんだけど、その人がいうには、適当に馬券を買って当たってもつまらない。ちゃんと研究して、この馬が1着になると分析して馬券を買って、それが当たった時に、本当に面白いんだって。「努力」の話とはちがうかもしれないけど、ちょっとにていると思わない？

コロナの中で、なかなか目標を持つことがむづかしいかもしれないけど、色々な場面、レベルで目標を設定して、その目標に向かって努力してみよう。そうすれば、きっと、良い結果につながって、偶然では味わえないうれしさが感じられるんじゃないかな？

どんな目標をもって、どんな努力をして、どんな結果になったか、今度、ジャイアンに教えてくれよな。

じゃあ、またな！



威風胴々_No.1 1

清水 聡

こんにちは。

梅雨が明けて、毎日、気温が30度を超える日が続くこの季節は、稽古をするにはとても辛い時期ですね。しかもマスクもしていますね。体調が悪くなったら休憩するという判断を自分でできることも大事なことです。でも、ただ暑いからといって休んでばかりいると強くなれません。頑張れるときは足を使い、腕を使い、大きな声を出して頑張りましょう。

とはいう私も、この記事は2回書いたら次は1回休んでいますので、休んでばかりだなと叱られそうですけど。

さて、前回までは胴に使われている革の種類についてお話をしました。胴胸や、へり革等はいろいろな素材の革が使われていました。

今回と次回は、過去に私が自分で作成した胴のお話です。

ルイ・ヴィトン胴

ルイ・ヴィトンの革の胴の写真です(図1)。



図 1

製作したのは9年前です。イノシシの毛皮をヤフオクで探していたら、偶然(ぐうぜん)にルイ・ヴィトンの革だけが売られているのを見つけました。胴台に毛皮を貼れば毛皮の胴台が自分で作れると考えていたところだったので、見た瞬間に、「これを胴台に貼ればヴィトンの胴ができるんじゃない?。しかもヴィトンの革は、旅行カバンにも使われているから、そこそこ丈夫なんじゃないか?」と思い、衝動(しょうどう)買いしました。革の大きさは60cm×90cm程度でしたので、胴台に貼るには十分なサイズです。諭吉さん【ピー】人で落札しました。

革をよく見ると、ミシンの穴が見受けられました。たぶん出品者さんは、ルイ・ヴィトンのバッグを解体してこの革だけをオークションに出したようです。

《ルイ・ヴィトンの革の柄の種類》

実は、私はルイ・ヴィトンの製品は一つも持ったことがなく、この革を買ってからルイ・ヴィトン調べしてみました。

この革の模様は「モノグラム」と言います。ルイ・ヴィトンの代表的な柄で、濃いめの茶色の地に、薄い茶色で創業者のイニシャルのLとVの重ねたマークと花、星のマークが並んでいます。

この配色が逆転したものや、黒地にピンクや黄色や緑で配色されたものなど、カラーのバリエーションは豊富にあります。他にもダミエ(図2)という柄もあります。こちらは、市松模様に見えますね。日本文化の影響があったのかどうかネットで検索してみました。1878年のパリで開かれた万国博覧会で、日本は幕府や薩摩藩、佐賀藩が日本庭園や工芸品などを多数出品していました。それらの美しいデザインを見たヨーロッパの人々はそれを真似るようになり、「ジャポニズム」というブームが起きました。ルイ・ヴィトンは、1888年にダミエというデザインを、1896年にモノグラムをデザインを発表しています。事実だけ並べると影響があったのかもしれないと思いますが、ルイ・ヴィトンの広報課は影響があったとは言っていないそうです。(そりゃそうだよね)



図 2

図3は、島津藩の家紋です。十字っぽい柄ですが、モノグラムの花が四つ葉なので似ていると思われたのかもしれませんが、ヨーロッパでは古くからチェッカー柄のデザインがありますから日本の市松模様だとは言い切れないようにも思います。



図 3

《モノグラムの生地》

さて、このモノグラムの生地は本物の動物の革なのでしょうか？

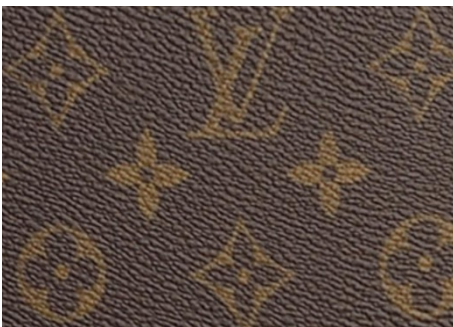


図 4

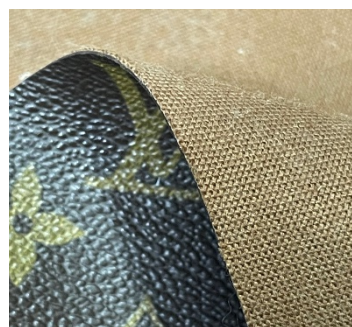


図 5

表面(図4)には細かいシワがあります。パッと見では、先回話した黒ざん革をイメージしますが、これは型押しです。裏側は繊維の生地(綿)です(図5)。つまりモノグラムの生地は、本革では

なくて合成皮革(ごうせいひかく)です。素材の種類でいうと、「ト

アル地」というエジプト綿に塩化ビニールをコーティング加工した人工革を貼り付けたものです。「トアル地」の特徴は、傷がつきにくく、防水性があります。ということは、胴に貼るにはピッタリの素材じゃないですか！

《胴台に貼ってみる》

まず、およその胴台の形にハサミで切りました(図6)。これを胴台に貼ります。

2020年9月号でも書きましたが、胴台のカーブに沿って、平面状の物を張り付けるのはとても大変なんです。丸みをもった胴台にシワがない状態で貼るには何とか伸ばさないとピッタリ貼れないのです。最初は胴台の淵に沿ってピンチで止めてみました(図6)。が、予想通りたわみが出てしまいます(図7)。そこで、ビニールなら熱には弱いだらうと思ひ、革の上に濡れたタオルを被せて上から熱した

アイロンをかけて柔らかくしてみました(図 8)。すると、少し革が伸びるようになったので、たわみがなく胴台にピッタリ貼ることができる様になりました。そこで接着剤を使って胴台に貼り、またピンチで淵全体を止めてひと晩、乾燥させました(図 9)。その後はへり革と胴胸を閉じて完成です。



図 6



図 7



図 8



図 9



図 10



図 11

この胴台は樹脂胴です。裏側はちょっと、ブランド感を演出するために遊び心でゴールドを塗りました(図 10)。

こうやって完成したのがルイ・ヴィトンの胴です。本来のモノグラムの各マークの配置は図 4 の配置ですが、一つ一つのマークを縦横に並べたかったので、45 度傾けた方向で配置するようにしました(図 11)。

多くの方々から「ホントに打ちちゃっていいのですか」と聞かれますが、遠慮せず打ちちゃってください。試合の時以外は w。試合でも使ったことがあります。ある審判員の先生に、「たくさんの家紋が書いてあるねー。」と言われたこともありました。

ちなみに、このモノグラム生地はまだ余りがありまして、もう 1 台分あります。ほしい方がいらっしゃいましたら、ご相談ください。

《面乳革》

この胴を作った際に、少量のハギレが残っていたので、昨年 5 月に「面乳革」を作ってみました。完成した時は、直ぐに切れちゃうかなあと思いましたが、一年経った今でもまったく損傷なしで使用しています。

次回はアザラシ胴の話です。次回は誠に勝手ながら最終回とさせていただきたいと思います。





いやーびっくりしたー!!